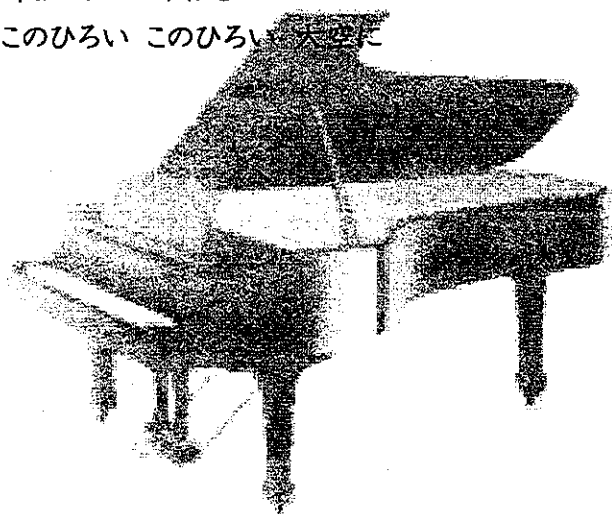


「旅立ちの日に」 作詞:小嶋 登
作曲:坂本浩美

白い光りの中に 山並みは萌えて
遙かな空の果てまでも 君は飛び立つ
限りなく青い空に 心ふるわせ
自由を駆ける鳥よ 振り返ることもせず
勇気を翼に込めて 希望の風に乗る
この広い大空に 夢をたくして

懐かしい友の声 ふとよみがえる
意味もないいさかいに 泣いたあのとき
心かよった嬉しさに 抱き合った日よ
みんな過ぎたけれど 思い出強く抱いて
勇気を翼に込めて 希望の風に乗る
この広い大空に 夢をたくして

いま 別れのとき
飛び立とう 未来信じて
弾む 若い カ信じて
このひろい このひろい 大空に



「君と」

作詞:倉吉市立河北中学校平成26年度3年生
作曲:朝日翔三

開かれた門の前で ぼくは君と出会った
受け継がれてきた日々を 繋いでいくために
あなたと過ごす毎日 いつも 楽しくて
ふざけあった毎日の 笑顔は向日葵のよう

ここまで歩んだ道 隣には いつも君が
かけがえのない日々を 大切に感じる

「さようなら」の声 が 帰り道に響く
離れ離れになること 考えもしなかった
ずっと 忘れないよ
あなたとの思い出 ずっと大切にしている
前を向き がんばるよ 次に合う その日まで
夢を追い続ける

舞い散る雪が桜に 変わろうとしたときは
涙をぬぐい お互い それぞれの道に進む
誰もいない教室に 残る落書きは
あいつと ぼくの絆を 深めてくれたよね

何気ない言葉交わす あなたとの毎日が
あと どれくらい続くの? 気付くと さみしい

辛いこともあった 1人挑もうとするけれど
高い壁を前に 怯えそうなときは
いつも 側に君が…
笑いあった日々は 思い出に変わる
離れていてもまた 次に会うその日には
変わらない 笑顔がある

けんかするの、悩むの、悪戯したときに逃げたのも「君と」
毎日「君と過ごす」日々はあたりまえで、あたりまえじゃなくて
今日やった悪戯も、今日やった勉強も、今日一緒に帰った帰り道も
その1つ1つが大事で大切な宝物。
気付かないうちに、ぼくは君の笑顔にどれだけ励まされて、どれだけ救われたか…なんて考えもしなかった。
きっといつも君が側にいてくれたからだね。
あのころはまだ夢なんてなくて、ただひたすら明日に向かって走って、走って…。
そんなとき、君と出会って知らず知らずのうちに夢を追いかけるようになったよ。全部、君のおかげだよ。
君ってやさしくて、君って心強くて、君って絶対に勝てなくて
君って、君って…。どんなときも一番近くで一緒に泣いてくれて、一緒に悩んでくれて、一緒に笑ってくれて、本当にありがとう。
君と過ごした毎日、1日1日は本当に宝物…。

—このような想いがあり、そして「夢を追い続ける」という歌詞に、「君と夢を追い続ける」という意味合いがあると感じ、この曲名にしました。

「君と」作詞 平成26年度3年生代表 畠山 竣大